

アオサギ観察会

2012年4月27日

つがいにまつわるエトセトラ

つがいの絆 アオサギに近縁なオオアオサギでは、ほとんどのペアの関係は一年限りだと報告されています。一般的には、毎春、コロニーに飛来した後につがいがつくられます。まず、雄が好みの位置に陣取ってディスプレイを行い、雌がよさそうな雄を選びます。コロニーはつがい形成を効率よく行うための出会いの場でもあるのです。けれども、つがいと一緒に過ごすのはわずかな期間。ヒナが大きくなるにつれ、つがいであっても出会うことはほとんどなくなり、ヒナが巣立つとともにペアの絆も自然に解消します。



つがいの見分け方 これは遠目にはなかなか分かりません。ただ、つがいで並んでいると、雄のほうが頭や首がちりちりしており、くちばしも太く見えます。それに対して、雌はいくぶん華奢な感じですが、そう感じるというほどのわずかな違いですが、慣れてくれば1羽だけでいても分かる場合があります。左の写真だと、たぶん手前が雌で奥にいるのが雄のはずです。この姿勢ではちょっと難しいですね。首を伸ばした姿勢を見ればもう少し分かりやすいかと思います。一般的には雄のほうが年齢が上のようなのです。

雌雄の役割分担 アオサギの行動にはっきりした雌雄差はありません。卵を温めるのもヒナに餌をやるのも雄と雌が交代で行います。やや違いが見られるのは巣材集めでしょうか。雄と雌、どちらも巣材を運びますが、基本的には雄の仕事のようです。雌は雄のもってきた小枝を使って巣を組み上げていきます。完全な役割分担というわけではなく、雌のほうが巣に対する執着が強いという感じです。



おまけ アオサギではありませんが、いまネットで、ニューヨークに住むオオアオサギの営巣状況がライブ中継されています。コーネル大学のサイト (<http://www.allaboutbirds.org/page.aspx?pid=2433>) で、常時、映像が流れています。ちょうどタイミングよく、今日、明日にも最初のヒナが孵ろうかというところです。決定的瞬間に是非立ち会ってみてください。なお、このつがいはコロニーはつくりず、毎年、単独で同じ場所に営巣しているようです。おそらく、長年連れ添っているペアなのでしょう。ちなみに、このペア、雌の冠羽が無くなっているため雌雄が容易に見分けられます。